

# 11. 機械工作

[問合せ、質問はイエローページを参照]

- ◆ 機械の回転部に巻き込まれないように注意して下さい。
- ◆ 学生の利用に当たっては、「スチューデントショップ利用許可書」を提示して下さい。
- ◆ 放射化物加工室での加工は放射線管理室の許可が必要です。放射線管理室に「RI 棟金工室立入願」を提出して下さい。
- ◆ 金工室の利用にあたっては、機械工作担当者に相談して下さい。

## <一般事項>

- 核物理研究センターの工作機械は、熱源棟金工室、RI 棟放射化物加工室に設置されています。
- 学生はスチューデントショップで講習を受けた後、スチューデントショップ利用許可書を発行してもらって下さい。
- 工作機械の操作法については、必要に応じて事前に説明等を受け、充分熟知の上、使用して下さい。

## 工作機械の取り扱い

### 1. 熱源棟金工室の工作機械

※ 現場に用意されたマニュアルを事前によく読んで下さい。

名称	注意点
旋盤	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料及びバイトの取付けは確実にを行う</li><li>・チャックハンドルを付けたまま主軸を回転させない</li><li>・切り粉を手で取り除かない</li><li>・バイトの交換は主軸を止めてから行う</li><li>・軍手を使用しない</li></ul>
フライス盤	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料及び切り刃の取付けを確実にを行う</li><li>・切り粉は主軸を止めてからハケで取り除く</li><li>・軍手を使用しない</li></ul>
ボール盤	<ul style="list-style-type: none"><li>・ドリルのチャッキングは確実にを行う</li><li>・ワークはバイスで固定する</li><li>・切り始め、抜け際は慎重に行う</li><li>・軍手を使用しない</li></ul>
コンターマシン	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料の送り加減と指先に注意</li><li>・軍手を使用しない</li></ul>
自動帯鋸盤	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料の取付けを確実にを行う</li><li>・切削油が出ている事を確認</li><li>・軍手を使用しない</li></ul>
グラインダー	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用前に砥石異常が無い確認</li><li>・スイッチ投入時、砥石回転面に立たない</li><li>・焼き入れしてある材料のみ使用可</li><li>・アルミニウム、樹脂等の研磨禁止</li><li>・軍手を使用しない</li><li>・保護マスク、保護メガネ等を着用して下さい</li></ul>

注・機器が破損した場合は直ちに担当者に連絡し、その指示に従って下さい。

**注・使用した機械、工具周辺を必ず掃除して下さい。**

(来たときよりも少しきれいに)を心がけて下さい。

## 2. RI 棟放射化物加工室の工作機械

### 1. 操作法

セミホット工作室（以下「RI 棟金工室」という。）において放射化した物質の加工作業（以下「作業」という。）を行うに当たっては、核物理研究センター放射線管理室監修発行の放射線管理規程・マニュアル集を事前によく読んで下さい。

### 2. 作業者

- (1) 「RI 棟金工室立入願」を放射線管理室に提出し、許可を受けて下さい。
- (2) RI 棟金工室の鍵は放射線管理室で管理しています。
- (3) 作業上の留意点
  - 1) 作業者は作業衣、履き物を替えて下さい。
  - 2) 入室前に空調機を運転して下さい。
  - 3) 必要に応じ、防護マスク、防護メガネ等を着用して下さい。
  - 4) 責任者の指示がある場合を除き、手袋を着用して機械操作しないで下さい。
  - 5) 放射線モニターが警報を発した場合、作業者は直ちに作業を停止し、責任者に連絡して下さい。
  - 6) 機器破損の場合は直ちに担当者に連絡し、その指示に従って下さい。
- (4) 作業終了後の検査等
  - 1) 作業後に生じた廃棄物については、それぞれ指定された容器に収納して下さい。
  - 2) 作業責任者は、作業終了後、直ちにその旨を担当者及び責任者に報告して下さい。